

設置説明書

IH クッキングヒーター

品番 KZ-DL60MS KZ-D32EST
KZ-DL60HS KZ-D32ES

<赤外線式換気連動対応>

KZ-DL60MS2 KZ-D32AS2
KZ-DL60HS2 KZ-D32AK
KZ-D32AST KZ-D32AK2
KZ-D32AS KZ-D32YS

※この説明書は<KZ-DL60HS>のイラストで説明していますが、設置方法や寸法などは各品番とも同じです。

Panasonic®

- 設置説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に設置してください。特に「安全上のご注意」は、設置前に必ずお読みください。
- ガス機器から付け替える場合
ガス事業者に連絡しないでガス工作物（ガス配管、ガスメーター、ガス栓など）を無断で撤去することは法令により規制されています。
事前にガス事業者へ連絡してください。また閉栓はガス事業者に依頼してください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- 本機は約30Aを消費するため、平均的なご家庭の場合で、総電気容量を約60A以上にするをお勧めします。60A未満の場合は、総電気容量を増やすか、本機の消費電力を4,800Wに切り換えるをお勧めします。
- 本機は、ビルトイン電気オープンレンジの排気口を接続する「後方排気システム」に対応していません。

1 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告

-  電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う
(接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因)
- 200V・30A以上の専用回路と漏電遮断器を設置する
(この工事をしないと、配線部が異常発熱する原因)
- アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う
- アースを確実に取り付ける
(漏電すると、感電の原因)

-  絶対に分解・修理・改造は行わない
(火災・感電・けがの原因)
 - ・トッププレートや操作部ユニットの分解、電源コードの直付けなど。
- トッププレートに強い衝撃を加えない
 - ・上に乗ったり、工具・鍋などを落とさない
 - ・コーナー部を強い力で押さえない

(万一ひびが入ったり割れると、感電や過熱・異常動作の原因)
- 試運転中は、トッププレートやグリルなど高温部に触れない(やけどの原因)

注意

-  ワークトップは、耐熱材料を使う
 - メラミン化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上の物

(耐熱性の低い材料は、火災・変形の原因)
※ニス引きのものは変色するため使わない。

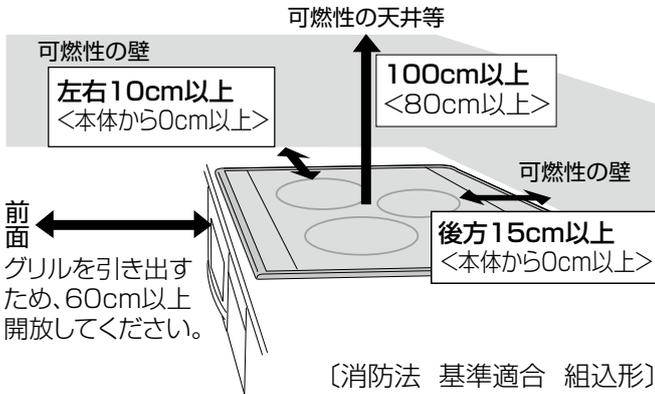
2 設置場所 / 外形寸法

壁からの距離

火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従って設置してください。

■可燃性の壁(防火構造壁以外)の場合

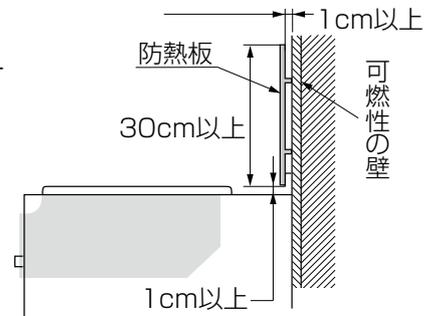
・< >内は不燃性の壁または防熱板を取り付けた場合



■左記の距離を離せない場合

防熱板を取り付ける

- 背面に取り付ける場合は、ラジエントヒーターを中心に、左右の位置をそろえてください。
- 本体の側面に取り付ける場合も、上記と同じ距離を設けてください。



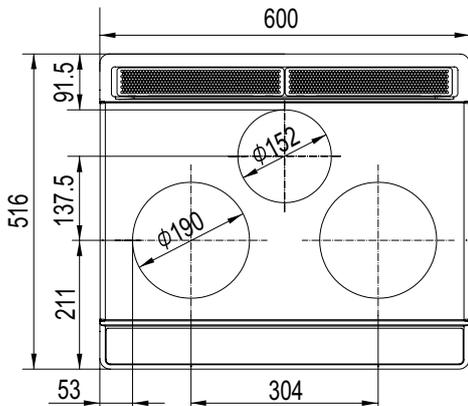
お願い

- 製品の金属部がキッチンの金属部に接触する場合はキッチンの金属部が、建造物の壁中の金属(メタルラスなど)に接触しないようにしてください。(電気設備技術基準第145条で危害なきよう設置することが定められています)

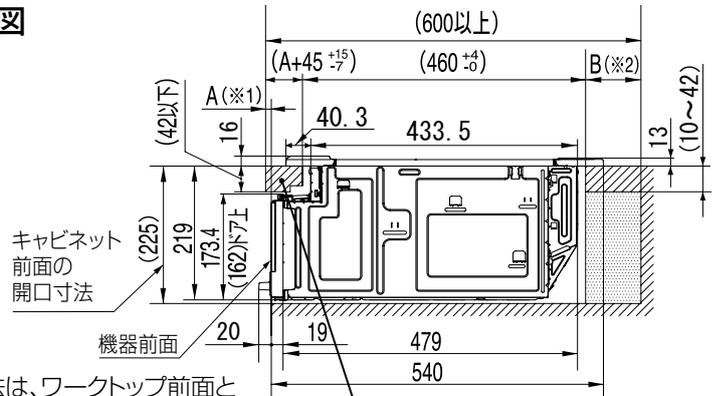
外形寸法図

※KZ-DL60MS/DL60MS2は、しぼり形状などが一部異なります。

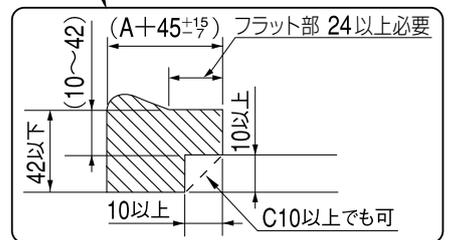
■平面図



■側面図



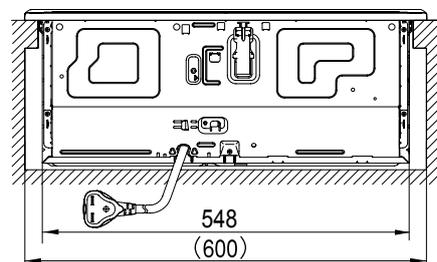
- ※1:A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面(機器前面)との差です。
- ※2:B寸法(後方スペース)80mm以上あれば、パナソニック(株)製の露出コンセント(WK36301B)が使えます。
- コード長さ:約0.7m



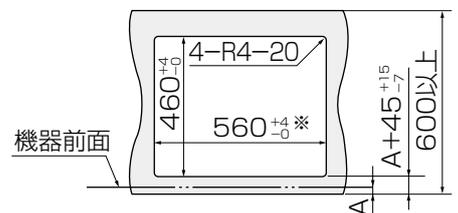
■正面図



■背面図



■取り付け穴(ワークトップ切り込み寸法)



※横寸法は560⁺⁴まで対応可能。

3 電気工事をする

専用回路の設置

■ブレーカー付き単相200V・30Aの専用回路

- 三相200V(動力電源)は使わない(故障の原因)

■屋内配線用電線

単線直径2.6mm以上または、より線5.5mm²以上

※ご使用のコンセントに適用電線の指示がある場合はそれに従ってください。

漏電遮断器の設置

- 推奨漏電遮断器<パナソニック(株)製>

品番	BJS3022N(HBモジュール) または BSHE23022(コンパクトタイプ)
定格電流	30A
感度電流	15mA

※上記以外では、IHクッキングヒーターに適さないものがあります。

コンセントの設置

D種接地工事を必ず行ってください。(コンセントの一極接地用に配線してください。)

■コンセントの種類・位置

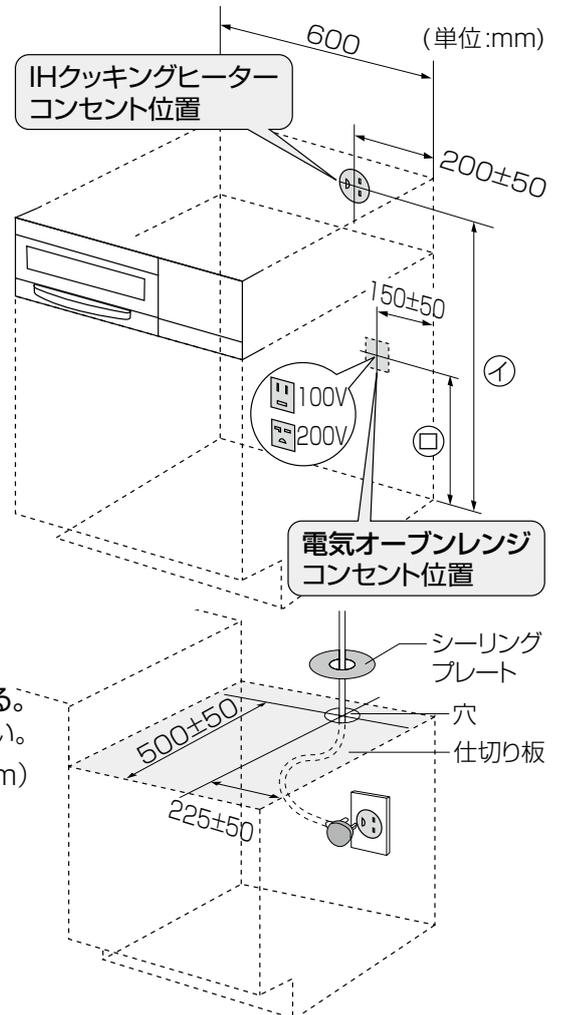
- 推奨コンセント<パナソニック(株)製>

	IHクッキングヒーター 200Vコンセント	電気オープンレンジ	
		100Vコンセント	200Vコンセント
定格	単相250V・30A(接地2P)	単相125V・15A(接地2P)	単相250V・20A(接地2P)
品番	(埋込型)WF3630B または (露出型)WK36301B	(埋込型)WN1031	(埋込型)WN1932 または (露出型)WKS294

●コンセントの取り付け位置

キッチン 高さ	IHクッキング ヒーター コンセント ①寸法	電気オープンレンジ コンセント ②寸法
850mm	700±15mm	商品によって異なります。 詳細は電気オープンレンジの設置に ついての説明書をご覧ください。
800mm	650±15mm	

※据置用枠を使う場合は、据置用枠に添付の説明書をご覧ください。



■仕切り板より下にコンセントを設置する場合

(仕切り板のあるキャビネット)

ホールソーなどを使い、φ60mm以上φ100mm以下の穴を開ける。
※穴をふさぐときは、シーリングプレート(あっせん品)を貼り付けてください。

- シーリングプレート 品番:KZ-042(外径約140mm、内径約30mm)

「お買い求め先」にお問い合わせください。

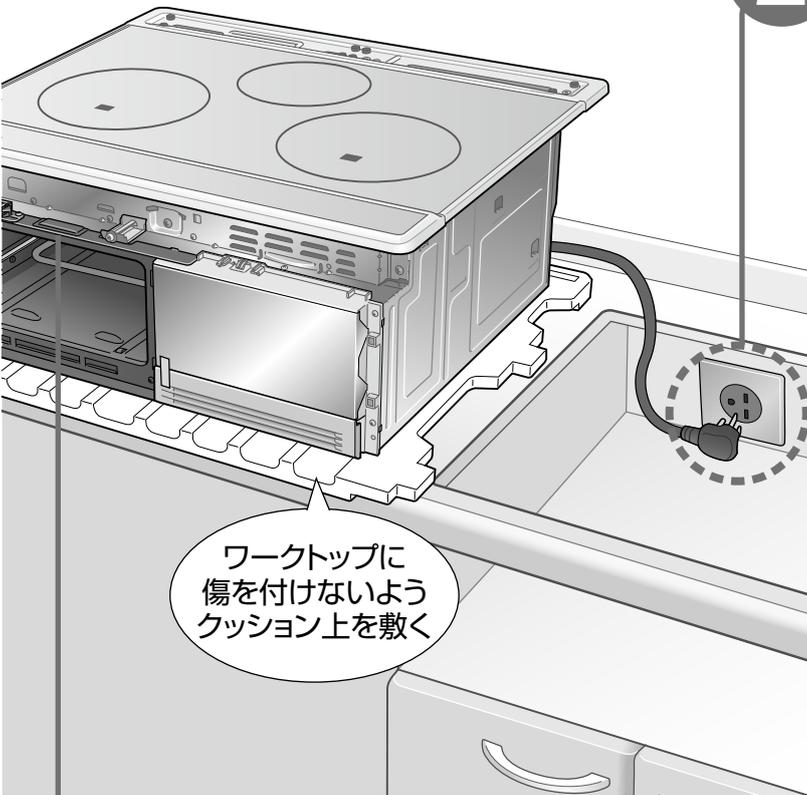
※詳細はシーリングプレートに添付の説明書をご覧ください。

お願い

- 電源コードがよじれたり、負担がかからないようにIHクッキングヒーターコンセントの向きに注意してください。

4 本体を設置する (同梱部品をご確認ください)

① 電源プラグを差し込み、本体をはめ込む

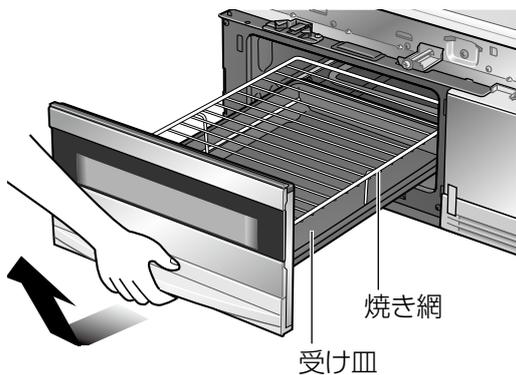


2 電源プラグを差し込み、ワークトップに本体をはめ込む

- 本体の前面を挿入して全体をはめ込む。
- 前面をワークトップに当てない。(傷が付く原因)
- 本体底面とキャビネットの間に、電源コードを挟まない。(本体が浮き、すき間がばらつく原因)
- フレーム下面とワークトップのすき間が、ほぼ均一かどうかを確認する。
※均一でない場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。

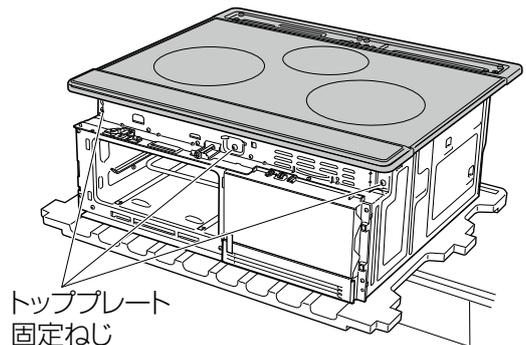
1 グリルを取り外す (テープ・保護シート・当て紙を外す)

- 止まるまで引き出して、斜め上に引き上げる。



(取り付けは、逆の要領で)

■ トッププレート固定ねじの締め直し方



- ① 本体を取り出し、トッププレート固定ねじを緩める。
- ② トッププレート手前の中央を強く押しながら、中央のねじを締め直す。(続けて左右も締め直す)
- ③ 再度ワークトップに本体をはめ込み、すき間がほぼ均一であることを確認する。

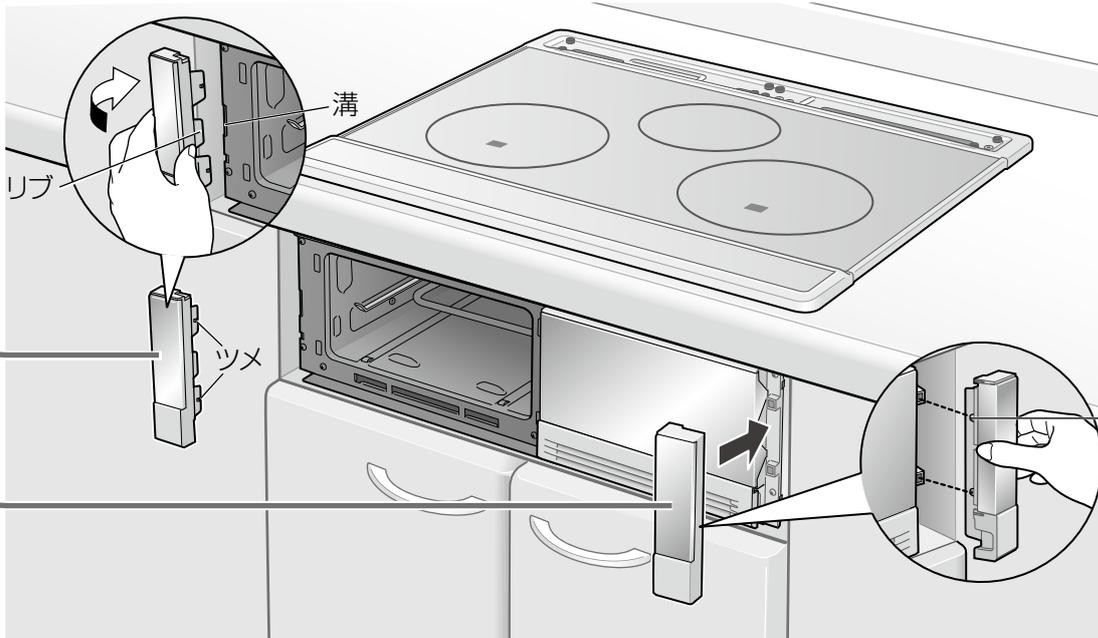
■ 取り付け穴横寸法が550mmのとき

- スペース(左右2か所)をラジオペンチ等で外す。

② サイドカバーを取り付け、本体の位置を調整する

1 サイドカバー(左右)を取り付ける

- サイドカバー(左)のリブを溝に合わせ、外側に回すように差し込む。
(2か所のツメが、本体側面の穴にはまる)
※無理にまっすぐ押し込むと、ツメが割れる原因。



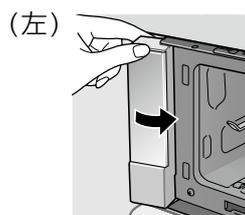
- サイドカバーがキャビネットの側面に乗り上げていないことを確認する。

2 本体の位置を調整する

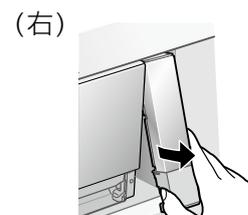
- ① キャビネットと本体左右のすき間を均一にする
- ② キャビネットの扉面に本体前面を合わせる

※位置を調整するときは、フレームの周囲から防水シールがはみ出さないように注意する。
はみ出した場合は、本体を少し持ち上げて薄いヘラ状のもので軽く押し込む。

■ サイドカバーの外し方



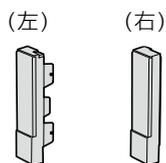
・内側に回すような感じで引っ張る。



・くぼみに指をかけて引っ張る。

同梱部品

サイドカバー：各1個



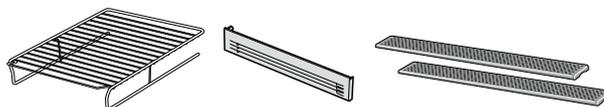
吸気口カバー：1個
(高さ10mm)



※本体とワークトップのすき間が大きいときは、高さ24mmのタイプをあらかじめあわせています。(P.7)

※この製品は、専用の天ぷら鍋を使わなくても揚げ物ができますので、天ぷら鍋は同梱していません。

※焼き網・フィルター・排気パネルは製品にセットされています。

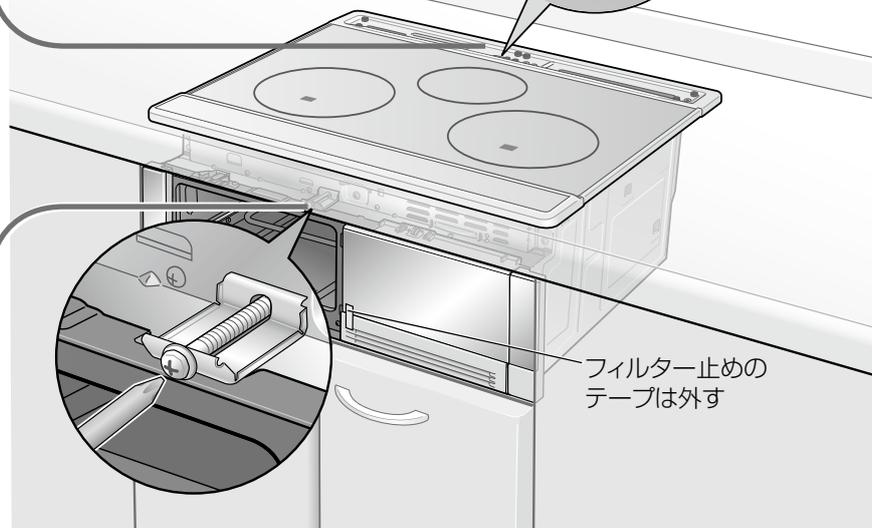
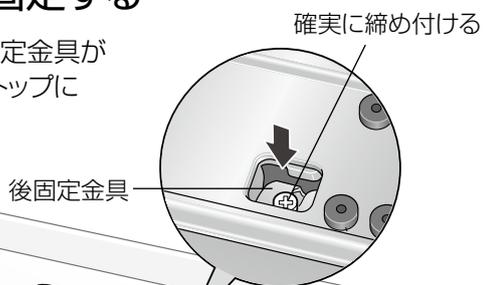


③固定する

1

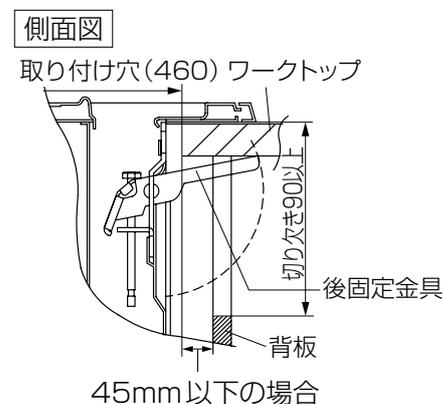
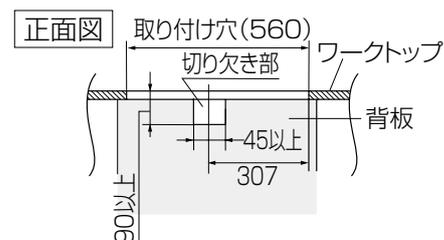
後固定金具を固定する

- ねじを締めると後固定金具が持ち上がり、ワークトップに固定される。



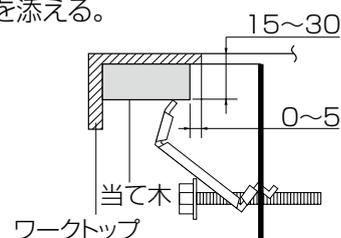
■ワークトップの後方に背板がある場合

背板位置がワークトップの取り付け穴から45mm以下の場合、後固定金具が通るように切り欠きを設ける。



■ワークトップの厚みが薄い場合

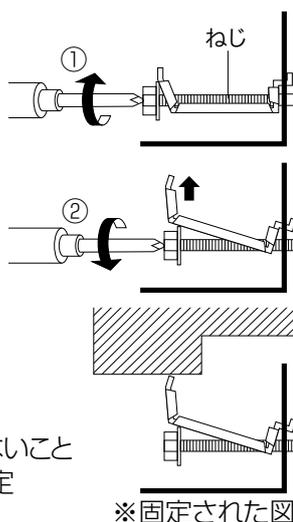
当て木を添える。



2

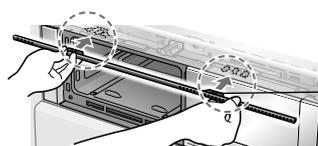
前固定金具を固定する

- ①ねじを緩めて、前固定金具を緩める
 - ②前固定金具をねじの上に載せるようにセットし、ねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する
- ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにする。
※先の長い(約70mm以上)ドライバーをお使いください。
 - 固定後は、次のことを確認する。
 - ・フレームを押して動かないこと
 - ・トッププレートの左右で傾き・すき間がないこと
 ※傾いている場合は、トッププレート固定ねじを締め直してください。(P.4)



④ 吸気口カバー・グリル・排気パネルを取り付ける

① 吸気口カバーを取り付ける



● 吸気口カバーの凸部(2か所)を奥まで差し込む

② グリルを取り付ける(P.4)

③ 排気パネルを取り付ける

赤外線コード・消費電力の切り換えが必要なとき

※操作ボタンや表示の位置は機種により異なります。

■ 赤外線コードの切り換え

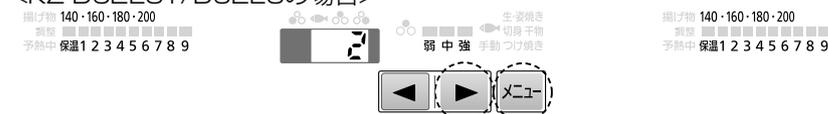
出荷時はコード「2」に設定しています。

- 設置完了後の作動確認④で、レンジフードが作動しない場合は、コードを切り換えて再度確認してください。

<KZ-DL60MS/DL60HSの場合>



<KZ-D32EST/D32ESの場合>



電源スイッチを入れ

- ① ○で囲んだ2つのボタンを約3秒間同時に押す(「2」を表示)
- ② ◀▶でコードを切り換える(「0」⇒「2」⇒「14」)

→表示されたコードで信号を送信する。

レンジフードが作動したコードで

- ③ ○で囲んだ2つのボタンを同時に押す(切り換え完了)

■ 消費電力の切り換え(4,800W/5,800W)

出荷時は5,800Wに設定しています。

- 必ず契約容量ブレーカー(契約容量ブレーカーがない場合は主幹ブレーカー)をご確認いただき、総電気容量が60A未満の場合は、消費電力を4,800Wに切り換えることをお勧めします。



- ① ○で囲んだ3つのボタンを同時に押しながら
 - 電源スイッチを少し長めに押し(表示部が点灯)
 - 電源スイッチから指を離す(「58」を表示)

- ② ▶▶で切り換える(「58」⇒「48」)

- ③ 電源スイッチを切る(切り換え完了)

あっせん品(前パネル・吸気口カバー)について

■ キャビネット前面の開口寸法が、標準(225mm)より大きい場合

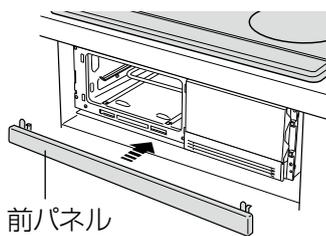
前パネルを取り付ける。

開口寸法	前パネル(シルバー)品番	前パネル(ブラック)品番
245mm	AD-KZ043S-25	AD-KZ043-25
270mm	AD-KZ043S-50	AD-KZ043-50
300mm	AD-KZ043S-80	AD-KZ043-80

■ 本体とワークトップのすき間が大きい場合

高さ24mmの吸気口カバーを取り付ける。

- 品番：AD-KZ045C



前パネル
※取り付け方は、前パネルに添付の説明書をご覧ください。

お問い合わせ先：
パナソニックホームエンジニアリング株式会社
システム部材開発センター
(06) 6942-6202

(2013年3月現在)

5 設置完了後、確認する

✓ 確認項目

包装材料の取り外し

● 部品止めテープ(グリル・フィルター・排気パネル)・グリルの保護シート・当て紙

同梱部品などの取り付け

● 排気パネル・サイドカバー・吸気口カバー・フィルター・グリル(受け皿・焼き網・扉)

外観

● 本体が前後左右に傾いていないこと ● トッププレートの左右に傾き・すき間がないこと
● フレームが浮いていないこと・フレームの周囲に防水シールがはみ出していないこと
● トッププレートが汚れていないこと

電気工事

● 電源電圧が単相200Vであることを確認する
※単相100Vでは、電源スイッチを入れたときに「H20」を表示します。

▶ 単相200Vに接続しても表示が消えない場合は故障です。

● アースが接続されていること
● 漏電遮断器が設置されていること

1 電源スイッチを入れる

▶ 通電ランプ点灯。

2 各ヒーターの作動を確認する

- 左IHヒーター: 
- 右IHヒーター: 
- ラジエントヒーター:  →  (または 

▶ 表示の点滅を確認する。

● 左・右IHヒーター

● ラジエントヒーター
しばらくするとヒーターが熱くなる。

3 グリルは  を押し、作動を確認する

▶ しばらくすると庫内が熱くなる。

<赤外線式換気連動対応のレンジフードの場合>

4 レンジフードと、「連動する/連動しない」を確認する

- 連動する : 各ヒーターの操作ボタンを「入」にする。
すべてのヒーターの操作ボタンを「切」にする。
- 連動しない: 下記の方法で「連動切」に設定し、いずれかのヒーターを入れる。

中央操作部の

①  を約3秒間同時に押す

 →  ・現在の設定を表示したあと表示が変わる

② 約3秒後に表示が消える(変更完了)

▶ レンジフードが作動する。
▶ レンジフードが停止する。(レンジフードによっては数分間残置運転して停止する)
▶ レンジフードが作動しないことを確認する。
→ 確認後は、同じ操作で「連動入」に戻してください。

※「連動入」になっているのに、レンジフードが作動しない場合

赤外線コードを切り換えて確認してください。(P.7)

→ それでも連動しない場合は、お買い求めまたは修理ご相談窓口(取扱説明書ご参照)にご相談ください。

■ 電気試験後は

- 必ず、各ヒーターと電源スイッチを「切」にしてください。
- 取扱説明書・設置説明書・保証書は、必ずお客様にお渡しください。

設置完了
確認者印

設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

パナソニック株式会社 キッチンアプライアンスビジネスユニット

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2013

ZY16-D50
S0313K0